

今日のトピック 新興国の企業景況感 先進国向けの輸出拡大につれ緩やかな改善へ

ポイント1 インドは改善

インドネシアは軟調な展開

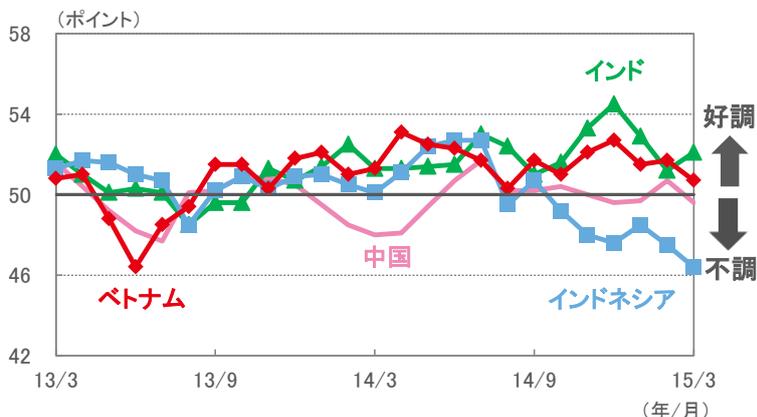
- HSBC・マーケット社による製造業購買担当者景況感指数(PMI)は、製造業の企業景況感を表し、好・不調を判断する境目は50ポイントです。製造業PMIは、新規受注、生産、雇用などいくつかの指数で構成されます。
- インドは、「モディノミクス」への期待などを背景として、生産指数や新規受注指数が上向いており好調さを持続しています。
- インドネシアは、悪天候やルピア安による原材料費の上昇などが抑制要因となり低下基調です。
- ベトナムは、内外需ともに好調に推移し生産指数や新規受注指数が好調な水準を維持しています。
- 中国は、原材料費の低下が下支え要因となっている一方、内需と外需がやや弱く、昨年後半から50ポイント近辺で推移しています。

ポイント2 ブラジルは大幅に低下

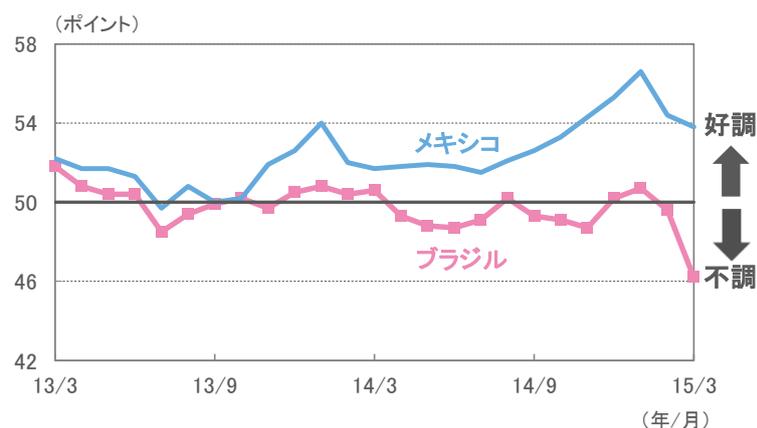
メキシコは好調を維持

- ブラジルは、構成指数が総じて低下し、製造業PMIは2011年9月以来の低水準となりました。内外需の低迷や、リアル安による原材料高が影響しています。
- メキシコは、米国向け輸出の拡大や雇用の堅調さなどから好調な水準を維持しています。

【アジア新興国(4カ国)の製造業購買担当者景況感指数】



【中南米(ブラジル、メキシコ)の製造業購買担当者景況感指数】



(注) 上下図表のデータは2013年3月～2015年3月。
製造業購買担当者景況感指数(PMI)はHSBC・マーケット社による。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 先進国向けの輸出拡大につれ緩やかな改善へ

- アジアでは、インドやベトナムが先進国向けの輸出の改善と原材料費低下の恩恵を受けて好調さを維持すると思われます。中国は景気刺激策への期待を背景に、改善が見込まれます。インドネシアは政府の構造改革などにより低迷を脱することが期待されます。
- 中南米では、ブラジルは物価抑制と通貨安による輸出拡大の見込みが強まるかが今後の改善のカギと考えられます。メキシコは、政府の構造改革や米国の底堅い景気などから好調さを維持すると見られます。

ここも チェック!

2015年04月03日 **ルセフ政権、財政と景気の再建へ(ブラジル)**
2015年04月02日 **中国株式市場の最近の動向**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。